

生活力を育む保育

多国籍の子どもたちと共に育ちあう保育をめざして

第20回宇治市乳幼児教育・保育協働研修会

宇治市立大久保保育所公開保育

(2025年12月25日)

塘 利枝子
(同志社女子大学)

1

1. 複数言語で育つ乳幼児期の子ども

- (1) 言語の習得は認知発達に影響
- (2) 日本語に触れる時間数の絶対的な少なさ
- (3) 家庭での保護者の意識の多様性

保育者のことばの支援が、
外国籍の子どもにとっても、
日本語を母語とする子どもにとっても重要

- (1) **ことば**の支援
- (2) 対人関係の支援
- (3) アイデンティティの支援
- (4) 生活習慣への適応支援
- (5) 就学につなげる支援

2

2. 認知発達と二言語修得 (Cummins, 1981; 中島, 2014; 山本, 2014)

しきい説(しきい理論) Threshold theory (Cummins, 1976)

…二言語修得が認知発達に及ぼす影響は、二言語の到達度によって異なる。

① 均衡バイリンガル(高度バイリンガル) Equilibrium Bilingual

二言語とも年齢相当水準まで高度に発達

→ 認知発達にも+

モノリンガル



1つの車輪でも行けるよ…

部分的バイリンガル



大きな車輪と小さな車輪でもいいよ…

② 偏重バイリンガル Overbiased bilingual (部分的バイリンガル)

一つの言語だけが年齢相当水準

→ 認知発達にも+でも-でもない。

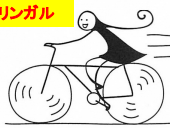
③ 限定的バイリンガル ((二重)・限定バイリンガル)

Limited Bilingual

両言語とも年齢相当水準に達していない

→ 認知発達にも-

高度バイリンガル



でも、車輪がバランスがとれていて、よく膨らんでいれば、もっと速くまで行ける…



限定的バイリンガル

でも、もちろんこうならなければ…

(Cummins 1985: 10 をもとに作成)

3

中島和子編著 (2010). マルチリンガル教育への招待: 言語資源としての外国人・日本人年少者. ひつじ書房, p.35.

3. 乳児期から幼児前期におけることばのアセスメントと支援

早期発見、早期介入の必要性

- (1) バイリンガルの子どもであっても、始語や二語文が著しく遅れることはない(バーンズ・亀山・森, 2010)。
- (2) 家庭での発話(身近な生活言語)や発達(指さし・共同注意)の状態を親に尋ねる。
⇒ 親の気づきを促す。
- (3) 乳児期における親の母語による語りかけの重要性(中島, 2011)
- (4) 保育者からの日本語の量・質に意識したことばかけ。
ことばよりも感情が伝わる。
安全基地が得られれば、他児と関わることができる。

4. 幼児後期におけることばのアセスメントと支援

(1) 周囲の行動を見て行動できるため、日本語の遅れに気付かれにくい。

5歳児男児の事例：親は日本語が分からないので、子どもが友達と日本語を使って遊んでいる姿を見て、子どもは日本語ができると思い込んでいる。

5歳児男児の事例：この保育所に来て8か月たつのに、上下左右等方向を表す言葉が理解できていないことに、最近気づいた。あと2か月で小学校に行くのにどうしよう。

(2) 入所・園時から個別の支援計画を立てて、言語の発達を記録する。

⇒ 個別で指示、通常とは異なる指示、身振りで示さず**ことばのみで指示**
「絵本の下に積み木を置いて」「赤の積み木の上に緑の積み木を置いて」

⇒ **行動面の発達の確認**や言語を必要としない**絵**なども用いて確認する。

(3) 日本語への理解度が低く、読み聞かせのような**学習言語**につながる活動に参加できない。

⇒ カードを利用して**視覚化**しながら**言語**で語りかける。
できるだけ**省略しない日本語**で話しかけることを心がける。
就学に向けたひらがな、カタカナをカルタ、しりとりを通して**遊びの中で獲得**。
家庭で日本の**幼児教育番組**見せてもらうよう依頼する。

5

(4) 養育者の母語による読み聞かせ

親子間のコミュニケーション言語の保証(母語・継承語)

母語・継承語教育で最も大事な時期は、**幼児期から就学初期**(中島,2016,p.152)

(5) 就学前施設におけることばの支援

⇒ **実況中継**をする話しかけ

子どもと一緒にやってみせて、同時に保育者が子どもの行動を**言語化**する(塘,2022)。

「砂を掘って大きな穴を作っているんだ。シャベルで砂をたたいているね。水を穴に入れているんだね。」

⇒ 入所・園直後には**わかりやすい遊び**を提供

言葉での説明を必要としないリズム遊び、模倣遊び

* 徐々に**言語活動**も加える。リズム遊び、模倣遊びだけでは言葉は育たない(塘,2008)。

⇒ **個別**の絵本の読みきかせ

発達段階や子どもの興味に即した絵本選び。

絵を指し示し、理解を確認しながらゆっくりと読み進める。

⇒ 日本語を母語とする子どもとを**つなぐ**保育者の役割

行動や気持ちを「通訳」する。保育者が見たこと、感じたことを恐れずに言語化。

保育者は安全基地＋異文化間をつなぐ役割

6